

新人さんいらっしゃい ～新型コロナウイルスを正しく怖れる～

令和2年4月1日、世界中が新型コロナウイルスに怯える中、入社式が三好正規理事長・病院長のもとで執り行われました。

この4月に入社された職員22名に、昨年11月から今年3月までに入社された9名を加え、総勢31名が入社式に臨みました。職種も医師をはじめ、看護師、介護福祉士、リハビリ療法士、臨床検査技師、事務職員など、実にさまざまです。

辞令交付の後、参加者全員で記念撮影。それがこの写真です。(マスク着用での写真撮影は初めてですね)



本来はまる2日間のプログラムですが、今回は1日に短縮。直前まで実施か、延期か、中止か、さんざん悩みましたが、このような時だからこそ、また医療介護に携わるからこそ、検温、消毒、マスク着用、十分な換気、講義内容の変更など、3つの密を防ぐよう最大限に気を使いながら、実施に踏み切りました。恒例の理事長訓話では、理事長と新入職員との意見交換があり、新入職員は「内容が堅くなく、雑学もあって楽しかったです。」「緊張が解け、がんばれるイメージが沸きました。」と、大いに刺激を受けた様子でした。



理事長によるユーモアを交えた訓話。若きスタッフにエールを送ります。



講師も参加者も、みんなマスク着用でした。感染防止のプログラムは、特に力を入れて講義しました！

「窓を開けばなしで寒かったけど、いろいろ学べて楽しかった。」との声を多く聞き、担当者としては一安心。最後は配属先の上司が迎えに来て、簡単なオリエンテーションがありました。不安が安心に変わった表情を見て、「不安だらけだったけど、実施して良かった！」の思いが強まりました。

これからも一緒に協愛会を盛り立てていきましょう！

以上